

借り上げ復興住宅問題で卒論

市川さんに黒田裕子賞

阪神・淡路大震災をはじめ、各地で災害看護に尽力した故・黒田裕子さんの遺志を引き継ぐと「黒田裕子賞」が新設され、初の授賞式が26日、神戸市内であった。受賞者は元神戸大生の市川英恵さん(23)。借り上げ復興住宅に入居した被災者の苦悩を大学の卒業論文にまとめたことなどが評価された。

黒田裕子賞は、NPO法人「しみん基金・こうべ」の主催。基金の前理事長だった黒田さんが2014年に73歳で亡くなり、その年神戸で開かれた「しのぶ会」に寄せられた香典が原資だ。今後、被災者支援に功績のあった個人や団体を毎年表彰する。

第1回の受賞者になった市川さんは現在、ろっこう



黒田裕子賞を受賞した市川英恵さん＝神戸市中央区

医療生協に勤務。神戸大在学中は被災者支援のサークル「灘地域活動センター」の代表を務め、災害復興住宅の入居者らと交流を重ねてきた。

自治体が民間から20年契約で借り上げた復興住宅の入居者が、借り上げ期間の満了を理由に退去を迫られる問題を知ったのも、サークル活動を通じてだった。

入居先の復興住宅が、たまたま「自治体直営」か「民間借り上げ」かで明暗が分かれる理不尽さ。震災後ようやく生活が落ち着いてきたのに、高齢になってから「出て行け」と言われることが、どんなに被災者を苦しめるか。こうしたことを入居者への取材やアンケートなどを通じて丹念に説き起こした。

卒論は出版社の目にとまり、今年3月、読みやすく再構成して「『被災者のニーズ』と『居住の権利』 借上げ復興住宅・問題」(クリエイツかもがわ)という

本にもなった。

「借り上げ復興住宅の入居者の切実な思いを、多く

の人に共有してもらいたい」と市川さん。大学卒業後も復興住宅通いを続けて

おり、今後被災者の力になりたいという。

(西見誠一)

神戸

神戸市認可

霊碑で供養する新しいお墓
二疊40万円(募集数800名) 宗門・宗派は
永代供養、霊碑製作、彫刻費込み 問いません

神戸善光寺
永代納骨塔

神戸善光寺 検索
www.kobe-zenkoji.jp/
TEL 078-851-0400